

自治労きよと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918 発行人・木村幹雄 編集人・乾 浩朗
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

6 / 11
2002
第413号

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@po.media-net.ne.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/



植本自治労副委員長



府本部は五月二十七日、自治労本部の植本眞砂子副委員長を招き、公

男女平等 職場・地域・労組の三位一体で 産別闘争

公務員制度改革 男女平等学習会

公務員制度改革大綱は組合側との十分な交渉・協議もないまま閣議決定され、二〇〇三年法改正、二〇〇六年新制度実施の計画で作業が進められている。大綱ではキャリア官僚を優遇する一方、人

大綱撤回へ100万人署名を



▲当面する課題に向けて団結を深めた自治労第125回中央委員会

五月三十日から三十一日にかけて、自治労第百二十五回中央委員会が高知市で開かれ、全国から中央委員、傍聴者を含め六百人が出席。人勤期の闘い、公務員制度改革の取り組み、男女平等産別統一闘争を重点に据えた当面の闘争方針と、再生プログラム第二次実施案、新規加盟二十七単組千七百八十四人の登録承認などの議案が確認された。

自治労第125回中央委員会

再生プログラム二次案を承認 実質的な 人事院交渉 マイナス人勧阻止へ全力

再生プログラム二次案を承認

た。男女平等参画への取り組みはまだ始動し始めたところだが、積極的に取り組まれている県本部の報告は、府本部のこれからの取り組みの参考となった。

また、八月の定期大会を目前に全職労と統合を進める」と決意を述べた。人勤期の闘いについては、マイナス勧告は不可避との判断で作業が進められている。自治体財政の悪化の中で勧告を上回る賃金引き下げもありうる。従来の枠組みを超える実質的な対人事院交渉を行うとの提起があった。

男女平等産別統一闘争の各県本部の具体的な取り組み報告、有事法案、公務員制度改革、そして再生プログラムに議論が集中したが、全議案は承認された。

中央委員会終了後に、男女平等産別闘争・県本部



▲3チームで熱戦が繰り広げられたバレーボール

バレーボール 八幡に栄冠、国保も地連大会へ

軟式野球 13チームが熱戦を展開

七月三十一日から開かれる自治労スポーツ大会第二十四回近畿地連大会。今年は京都府宇治市・山城総合運動公園(太陽が丘)と城陽市・鴻ノ巣山運動公園で行われる。京都は地元として京都府大会優勝、準優勝の二チームが地連大会出場の際に手を握る。



▲13チームが競った軟式野球

府本部は地連大会への出場権をかけた京都府大会軟式野球の部・一、二回戦を晴天の五月二十五日、八幡市民スポーツ公園グラウンドで開いた。結果は、自治労京都府職、城南衛管労組、京田辺市職、八幡市職がベスト・フォーに進出。十五日(当初六月一日予定)変更)に同会場で開催された。

バレー 木津町職、善戦及ばず

女子バレーボールの部は六月一日、八幡市民体育館で開いた。出場三チームの総あたり戦で勝利を収めた結果、八幡市職が昨年に引き続いて優勝の栄冠に輝いた。準優勝は国保労組で、この二チームが地連大会への出場を決めた。一昨年優勝の木津町職は善戦及ばず三位となった。

決勝、決勝戦で激戦の花を散らすこととなる。当日は終日強い陽射しが照りつける中、午前九時の開会式でスタート。十三チーム(うち北部単組三チーム)という例年になく多数のエントリーにより九試合を展開。グラウンドの制限時間一杯まで熱戦が続いた。試合展開は大差で勝利がつく試合もある一方、トスで決する試合も二試合。さらに日程変更で棄権やむなしのチームも。悲喜こももの中、四チームが準決勝への切符を手に入れた。

火災・風水害・地震
ワイドに保障します。

火災共済+自然災害共済
自然災害保障付
火災共済
じちろう共済

自治労スポーツ大会第24回京都府大会

(バレーボールの部) 結果

	八幡市職労	木津町職	国保労組
優勝		21-8 21-13	21-7 21-10
三位	8-21 13-21		21-17 11-21 17-21
準優勝	7-21 10-21	17-21 21-11 21-17	

(軟式野球の部) 1・2回戦の結果



年代超えて交流 新入部員歓迎会

山城町職婦人部も新しい部員を迎え、そろそろ職場にも慣れた頃では...
五月二十二日に新入部員歓迎会を開きました。この歓迎会は部員の交流や親睦を目的に年一回催しています。会場は近鉄高の原駅近くの桑々厨房という店で、和食から中華、

いろいろなメニューがそろい、その上飲み放題。二十三人の出席のもと始まった自己紹介では、一人ずつユーモアを交えながらとても上手に話されました。日頃なかなか会えない人やゆつくり話す機会がない人もいて、久しぶりに会話がはずみました。次々と出てくる料理に舌鼓を打ちながら、次から次へと出てくる会話に笑いは絶えません。お酒も入りハイテンションになって、二十代から五十代の年齢差など感じられませんでした。何と言っても食事をすること、会話をすることが幸せを感じる時。心も体もリフレッシュして店を出しました。(山城町職婦人部)

酷暑に向かうアフガニスタン 衛生状態は改善されず

日本ボランティアセンター(JVC)の巡回診療

看護師・上住純子と調剤員・清水俊弘の二人は、アフガニスタン東部ジャラバード周辺の「ヒサルシャヒ避難民キャンプ」で、この一月から三ヶ月間、巡回診療を行い、これに必要な医薬品の提供、栄養失調児への補助栄養食を配給した。

村人たちが続々と集まる巡回診療。JVCとアフガニスタンのNGO「OMAR」協働の巡回診療が知られると、村人たちはわいわいとした様子で、お母さんやおばあさんが現れるそうです。上住看護師は、男性医師の診察を避ける女性たちにとって、女性の看護師が診察にきてくれたことは大きな喜びだったようだ。実際に診察して「診てあげてよかった」と安堵したことも



▲村人にフェリニ(離乳食)を配るNGOスタッフ

嘱託の組合加入を推進 補助組織と労働条件改善へ

八幡市職労と市職労の補助組織である嘱託職員協議会は、五月二十二日と二十四日に府本部の協力を得て、市職労に未加入の最近採用された嘱託職員を対象にした組合加入説明会を開いた。参加者は合わせて二十四人で、自治労や市職労運動をすすめていく。

八幡市の嘱託職員採用は最近職員の退職補充を理由にして、二十代の若年層の採用も多く、職員と変わらない仕事に従事しているのが現状だ。市職労は、嘱託職員協議会との結成以来、一緒に交渉などを行い、賞金の年間昇給や労働条件の改善をすすめていく。

新執行部 紹介

- 福知山市役所 職員労働組合
- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 委員長 | 大槻 光 | 執行委員 | 大西 誠樹 |
| 副委員長 | 芦田 徹二 | 執行委員 | 岩間 信之 |
| 副委員長 | 山中 明彦 | 執行委員 | 西村 憲二 |
| 書記長 | 大西 健二 | 執行委員 | 谷口 智広 |
| 書記次長 | 柴山 幸夫 | 執行委員 | 中田 浩二 |
| 書記次長 | 森田 哲也 | 執行委員 | 谷垣 典栄 |
| 書記次長 | 西畑 信寿 | 特別執委 | 足立 朋之 |
| 執行委員 | 大嶋 康成 | 特別執委 | 塩見 英世 |
| 執行委員 | 梅原 麗子 | 特別執委 | 小田 浩二 |

京都自治総研講演会
参加者募集中

「豊かなまちづくり」のために
行政と住民の新しい関係づくり

講師 久 隆宏氏(近畿大学理工学部助教授)

6月24日(月) 午後3時30分
ホテルセントノーム京都

先に臨時の診療場所に集まる。いかに自分が治療を必要としているか、くっつかないように訴える。幼児・乳児を抱えたお母さんはひとときわ真剣。

「そのパワーには圧倒されました。アフガン女性性は控えめと思っていたのですが、家に入りブルカを脱ぐと、お母さんであげつるげな井戸端会議大好きなおばあさんが出現するんです」と上住看護師。

男性医師の診察を避ける女性たちにとって、女性の看護師が診察にきてくれたことは大きな喜びだったようだ。実際に診察して「診てあげてよかった」と安堵したことも

少なくていい。いち早くアフガンで活動を開始

昨午秋、米軍による空爆が始まるや、JVCは現場での具体的な支援を計画。アフガン国内の危険な地域で戦火にさらされている人々への支援活動を開始した。

「三万人を対象に、基礎食糧(小麦七割、食用油〇・六割/一人一月)を配給。移動診療に必要な医薬品(下痢・気管支炎の治療薬など)を提供。二千人の患者を治療。六百人余りの女性を看護婦がケアした。毛布一万枚を配布。

これからが本番。暫定政権ができ、アフガニスタンは安定を取り戻したかのようだが、復興はカブールの中心地を除けば、その足取りは遅々としている。都市を歩出れば食糧事情、衛生状況はほとんど改善されていない。それどころか、これから夏の酷暑を迎え、マラリヤや下痢などの疾患のまん延が危惧される。特に低栄養状態にある子どもたちは簡単に命を落とすだろう。アフガニスタンの惨状は、ただ日本人的意識から消えていきそうだが、NGOの支援はこれから本番だ。

政・官・業ゆ着や天下りを止めさせ
透明で民主的な公務員制度改革を実現しよう。

1人5人分の署名を!

官僚と政治家とのゆ着、不祥事の続発など行政がゆがめられ私物化がまかり通っています。政府の「公務員制度改革大綱」は、こうした問題にメスを入れず、逆に特権的官僚制度を温存し、天下りを緩和するなど改革とはほど遠いものです。大綱を撤回し、労働基本権を保障した公正・透明で国民のためになる公務員制度改革を実現するための署名運動に取り組んでいます。

自治労「大綱」撤回へ、1000万人署名を成功させよう

こんな「大綱」言語道断